

盛岡ひがし支援学校

研究テーマ

「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」による学校教育目標を見据えた学部目標の追求 (R3～R5)

～「授業ライブラリー」の作成と活用、「教材ライブラリー」の構想を通して～

1 校内研究

(1) 研究の目的

「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」により、学校教育目標「児童生徒一人一人の可能性を伸ばし、心豊かで主体的に生きる人を育成する」を見据えた各学部目標を児童生徒一人一人の中に追求する。

(2) 研究の内容

学級、学年、グループ等において、「日常の授業づくり等」を必要に応じて関わる職員で行う。

(3) 研究の方法

- ①校内研究に関わる会議は、既存の職員会議、学部会、学年会等を活用する。
- ②「日常の授業づくり」及び「日常の事例の検討」に以下の資料を活用する。
 - ・学習指導要領（ひがし通信（vol11～20）等）
 - ・学校教育指導指針(R5 特別支援学校)
 - ・障害のある子供の教育支援の手引き (R3 文科)
 - ・特別支援学級経営の手引 (R5 岩手県立総合教育センター)
- ③授業ライブラリーを以下のように運用する。
 - ・学校フォルダ内に、校内研究の取り組みの成果である「日常の授業」の映像データ可能な場合、指導略案を添える)」を提供し合い作成しする。
 - ・必要に応じて活用する。
- ④教材ライブラリーを構想・試行する。
- ⑤周知・報告は、岩手県高等学校教育研究会特別支援教育部会研究集録による。

(4) 今年度の実践

個別の指導計画を作成するための資料に各教科の「目標・内容の一覧」を位置付けた。

これをベースに、各担当が各学級、学年、グループ等の「日常の授業づくり」に取り組み、必要に応じて「日常の事例の検討」を既存の会議等を活用しながら取り組んだ。

タを募り、共有画像フォルダ内に以下の分類による26本の授業の動画データを収めた「令和5年度授業ライブラリー」を作成し、必要に応じて活用することができた。

ア	教科による指導	01 国語 02 算数・数学 03 音楽 04 図画工作・美術 05 体育・保健体育
イ	教科以外の指導	06 自立活動 07 総合的学習（探究）の時間 08 その他
ウ	各教科等を合わせた指導	09 日常生活の指導 10 遊びの指導 11 生活単元学習 12 作業学習

また、「授業ライブラリー」に準じて「教材ライブラリー」を設定し、示した「活用の仕方」に従い、教材を提供し合い、必要に応じて活用することができた。

2 講演会

演題：愛着障がいの理解と学校教育における支援の在り方

講師：岩手大学教育学部特別支援教育科
准教授 滝吉 美知香 氏

期日：2023年8月4日（金）

3 研修会

演題：ユニバーサルデザイン授業づくり実践
～発達障がいの特性に応じた支援の工夫～

講師：岩手大学教育学部特別支援教育科
准教授 鈴木 恵太 氏

期日：2023年7月27日（木）

4 刊行物

研究集録は刊行していません。

5 他の研究機関との連携

- 第61回東北特別支援教育研究大会岩手大会
生活単元学習（特別支援学校小学部）発表
藤田 ちひろ 教諭